

令和2年度第2回逗子市総合計画審議会 会議概要

日 時：令和2年10月19日（月）18：30～20：00

場 所：逗子市役所5階第3会議室

出席者：

【委員】出石会長、佐藤成人委員、藤井委員、佐藤英夫委員、小川委員、三原委員、
田宮委員、藤江委員、山口委員、村上委員、中畷委員、志村委員

【市側出席者】桐ヶ谷市長、柏村副市長、

欠席者：3人（磯部副会長、池谷委員、佐野委員）

事務局：福井経営企画部長、福本経営企画部担当部長、仁科企画課長、四宮企画課係長、
金子主任、山口主事（記録）

傍聴者：0人

配付資料：

次第

資料1 逗子市総合計画進行管理総括表

議事概要：

1 開会

2 次年度の総合計画の推進に向けて【意見交換】

- 令和元年度分の逗子市総合計画進行管理に係る総合計画審議会の答申に対し、市長から市の見解が提示された。
- 市長の見解を踏まえ、計画の推進全般について、次の意見・質疑応答があった。
 - ・逗子も人材と財政に限りがあると思うので、行政として守るべき組織体制も重要だが、逗子という場を実証実験や規制の緩和などを行って、民間企業を呼び込んでいく攻めの姿勢と両輪で動かしていくべき。
⇒財政の見通しを立て、安定化させた上で、民間の力を借りながら、様々なことを挑戦すべきと考えている。
 - ・基幹計画などの策定について先送りされるとのことだが、市民活動をされる方のモチベーションに影響することからも、可能な限り取り組んでもらいたい。
⇒無理に前期実施計画期間の2年間のうちに中途半端な計画を作っては意味がないと考えており、次期の計画策定の中で検討を深めていきたいと考えている。
 - ・住民自治協議会の懇話会を立ち上げて、既に8年経過しているが、全ての小学校区が立ち上がっていない。自治基本条例も策定されず、要綱では拠り所がない状態である。行政から自治基本条例に対するビジョンを打ち出してもらいたい。

⇒現在立ち上がっていない逗子小学校区は最大小学校区となるため、現時点でできる取り組みを進めた上で判断をしていきたいと考えており、もう少し時間をいただきたい。

- ・個別計画の内容・問題点を理解していないと、総合計画審議会委員としても意見を出しにくいいため、個別事業に対し、もう少し細かい内容を審議したい。

⇒次期の計画策定を検討する中で、示せることはしっかりと示していきたい。

- ・総合計画について、ほとんどの人が知らないなので、周知をお願いしたい。

⇒もっと分かりやすく、今後も広報等でお知らせしていきたい。

- ・個別計画等の策定にあたっては、総合計画審議会の視点でチェック機能を働かせれば、もっといい計画ができると思う。

- ・総合計画審議会が個別計画の管理をしていくという形でなく、総合計画審議会と個別計画の懇話会等がそれぞれのお互いの意見をよく聞きながら、調整を図っていくことが重要である。

⇒今後進めるにあたり、市民の方々にとっても有意義な計画となるよう努力していきたい。

- ・次期の計画について、先が見通せない情勢の中、現在の計画の課題をしっかりと整理し、各事業に従事する職員の活発な意見を吸収して、柔軟に進めていただきたい。

⇒大きく状況が動いている中、的確に動きに対応しながら、今後の逗子の方向性を考えていきたい。

- 今回の意見を踏まえ、今後の総合計画を推進し、次期の計画の策定を検討する。
- 今年度の総合計画審議会は今回で終了とする。

3 閉会